

## 学会だより

## 一般社団法人日本地域看護学会 2020年度事業報告書

## I. 会員数

## 1. ブロック別会員数

2021年6月2日現在

ブロック	都道府県	会員数
北海道・東北	北海道, 青森, 秋田, 宮城, 山形, 福島, 岩手	121
関東	群馬, 茨城, 栃木, 千葉, 埼玉, 神奈川	323
東京都	東京都	159
甲信越・中部	静岡, 愛知, 岐阜, 三重, 福井, 富山, 石川, 長野, 山梨, 新潟	275
関西	滋賀, 大阪, 京都, 奈良, 兵庫, 和歌山	253
中国・四国	岡山, 広島, 鳥根, 鳥取, 山口, 高知, 香川, 徳島, 愛媛	146
九州・沖縄	福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 鹿児島, 宮崎, 沖縄	128
	会員数合計	1,405

## 2. 経年会員数推移

総会報告時

年度	会員数	対前年度比	年度	会員数	対前年度比
1998	420	—	2010	1,360	107%
1999	569	135%	2011	1,286	94%
2000	695	122%	2012	1,298	100%
2001	794	114%	2013	1,312	101%
2002	918	115%	2014	1,339	102%
2003	935	101%	2015	1,417	105%
2004	976	104%	2016	1,404	99%
2005	1,068	109%	2017	1,441	102%
2006	1,128	105%	2018	1,438	99%
2007	1,172	103%	2019	1,424	99%
2008	1,241	105%	2020	1,413	99%
2009	1,265	101%	2021	1,405	99%

## II. 事業報告

## 1. 理事会を3回開催した。

会議名	開催日・方法	主な議題
2020年度 第1回理事会	2020年5月29日 Zoomによるオンライン会議	2019年度事業報告, 決算・監査報告, 2020年度事業計画, 予算, 健康危機管理支援システムの整備, 第25回学術集会長の選出等
2020年度 第2回理事会	2020年11月8日 Zoomによるオンライン会議	第24回学術集会開催方法, 健康危機管理支援システム整備, 保健所への会員派遣, 賛助会員の入会等
2020年度 第3回理事会	2021年2月21日 Zoomによるオンライン会議	第24回学術集会理事会セミナー, 2021年度社員総会, 2020年度事業報告, 中間決算報告, 2021,2022年度事業計画, 予算, 2020年度表彰論文等

※その他, 監査および委員会における会議(詳細は各委員会の報告書を参照)を適宜開催した。

## 2. メール審議を8回実施した

会議名	審議結果報告日	議 題	結 果
第1回 メール審議	2020年 4月24日	①入会審査, ②第23回学術集会の開催方法を誌上開催とすること, ③第23回学術集会が誌上開催の場合の理事会セミナーの企画について	全て, 全会一致で承認された
第2回 メール審議	2020年 7月17日	①新型コロナウイルス感染症の危機的な拡大を受けて厚生労働省からの本会への保健所支援依頼の応諾について, ②本学会の登録者名簿の作成方法について	全て, 全会一致で承認された
第3回 メール審議	2020年 7月28日	①オンラインによる研究セミナーの実施について	賛成多数で承認された
第4回 メール審議	2020年 8月6日	①賛助会員の入会申請の申し合わせ案について, ②学会広告バナー掲載申し合わせ案について	学会ポリシーの確認など重要意見がだされたため継続審議となった
第5回 メール審議	2020年 8月20日	①賛助会員の入会申請の申し合わせ案について(継続審議), ②臨時社員総会の開催について	賛助会員の入会について回答留保が多く継続審議となった。賛助会員に関連して臨時社員総会の開催の動議が出されたが、対応を急ぐ必要性はなく次期総会の審議となった
第6回 メール審議	2020年 9月4日	①学会ホームページへのバナー広告の掲載について, ②バナー広告掲載者の要件について, ③賛助会員の会費を社員総会で審議することについて	賛成票と反対票, 保留と意見が割れ, 理事会で審議することとなった
第7回 メール審議	2020年 12月15日	①第24回学術集会理事会セミナーについて	賛成多数で承認となった
第8回 メール審議	2020年 1月26日	①感染症法改正案に対する日本看護系学会協議会の意見表明についての回答, ②日本地域看護学会としての感染症法改正に対する意見表明について	全て, 全会一致で承認となった

## 3. 社員総会を1回開催した.

会議名	開催日・方法	主な議題
2020年度 社員総会	2020年6月25日 書面にて実施	2019年度事業報告, 決算・監査報告, 2020年度事業計画, 予算, 名誉会員等

4. 会員報告会の開催を第23回学術集會会期中に予定していたが, 第23巻第2号「学会だより」にて報告した。
5. 第23回学術集會を開催した。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の予防および感染拡大防止のため, 2020年8月29, 30日に大阪市にて予定していた対面による開催を取り止め, 講演集による誌上発表へ変更し, 一部プログラムは動画配信を行った。  
テーマ: 地域力の可視化とケアの変革  
学術集會会長: 河野 あゆみ氏(大阪市立大学大学院看護学研究科在宅看護学領域)  
HPへのアクセス数: 1,715件(2020年8月25日~10月31日)
6. 理事会緊急セミナー「新型コロナウイルス感染症に対する自治体本庁への学会としての支援経験からの学び」を, 第23回学術集會講演集での誌上発表にて実施した。
  - 1) テーマ: 新型コロナウイルス感染症への対応における学会への期待  
講 師: 加藤 典子氏(厚生労働省健康局健康課保健指導室)
  - 2) テーマ: 新型コロナウイルス感染症への支援経験から得られた学会としての役割  
講 師: 春山 早苗氏(自治医科大学看護学部, 日本地域看護学会災害支援のあり方検討委員会)
7. 日本地域看護学会誌第23巻第1号(2020年4月20日発行), 第2号(2020年8月20日発行), 第3号(2020年12月20日)を電子体で発行した。また, 2020年度から電子体のみでの発行となったため, 会員へアンケート調査を実施した。その他, 日本地域看護学会誌投稿規程を改正し, 英文投稿原稿に関する執筆要領を明記した。
8. 地域看護学に関する研究活動を推進し, 委員会セミナーをオンライン開催にて実施した。
  - 1) 第1回研究セミナー(オンライン開催)  
オンデマンド配信: 2020年10月2~18日

ライブ配信：2020年10月10日

タイトル：健康で安全な地域社会の構築を目指す実践研究

——実践者と研究者の協働手法CBPR——

テーマ・講師：①Community Based Participatory Researchとは

麻原きよみ氏（聖路加国際大学大学院看護学研究科）

②Community Based Participatory Researchの実例

平原 優美氏（日本訪問看護財団あすか山訪問看護ステーション）

成瀬 昂氏（東京大学大学院医学系研究科地域看護学分野）

小林 正幸氏（文京昭和高齢者在宅サービスセンター）

参加者：139名（会員：101名，大学院生：30名，非会員：8名）

2) 第2回研究セミナー（オンライン開催）

ライブ配信：2021年3月13日

オンデマンド配信：2021年3月14～21日

タイトル：マルチレベル分析の理論と実際

テーマ・講師：①マルチレベル分析の理論と活用

山口 拓洋氏（東北大学大学院医学系研究科医学統計学分野）

②マルチレベル分析を用いた地域看護研究の実例

田口 敦子氏（慶應義塾大学看護医療学部）

参加者：210名（会員：182名，大学院生：21名，非会員：7名）

9. 広報活動の一環として、公立病院の地域連携室等への広報・調査を実施した。

10. 地域看護学に関する教育のあり方について検討した。

11. 地域看護学に関する国際的な交流を行い、News Letter No.20を発行した。

12. 日本地域看護学会表彰制度を運営し、規程に基づき表彰論文の決定と名誉会員候補者の検討を行った。

1) 優秀論文（1編）

タイトル：発達上気になる子どもの保護者支援に関する保健師 —保育士連携活動自己評価尺度の開発—（原著）

著者：大塚敏子・巽あさみ・坪見利香

巻号：第22巻第1号

2) 奨励論文（2編）

タイトル：アルコール依存症者が断酒と就業を両立するプロセス

著者：佐野雪子・巽あさみ

巻号：第22巻第2号

タイトル：中山間農村地域のひとり暮らし男性高齢者と地域との関係性における経験の意味

著者：細木千穂・白谷佳恵・田高悦子・伊藤絵梨子・有本 梓

巻号：第22巻第2号

3) 名誉会員候補者

別所遊子氏（神奈川県立保健福祉大学名誉教授）を名誉会員候補者として決定した。別所氏は第10回学術集会、監事を歴任するなど、名誉会員の候補基準を満たしている。

13. 災害に対する支援のあり方を検討した。

14. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め、活動に参画した。

15. 選挙管理委員会を設置し、役員選挙を実施した。

16. 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の流行が危機的な拡大を見せ、2020年7月に厚生労働省から本学会に至急の協力要請があった。本学会の「健康危機管理支援システム」に支援要員として既に登録している会員及びこれまで厚労省への応援を経験している会員を対象に保健所支援への登録の協力依頼を行った。

また、2019年度に学会ホームページに立ち上げた新型コロナウイルス関連情報特設サイトは、情報を定期的に更新し、継続して情報発信に努めた。

**一般社団法人日本地域看護学会 2021年度事業計画書**

1. 理事会を4回以上および監査会議を1回以上開催する。
2. 社員総会を1回開催する。
3. 会員報告会を1回開催する。
4. 第24回学術集会を開催する。
5. 第24回学術集会時に理事会セミナーを実施する。
6. 日本地域看護学会誌第24巻第1号, 第2号, 第3号を電子体で発行する。
7. 地域看護学に関する研究活動を推進する。
8. 地域看護学に関する広報活動を強化する。
9. 地域看護学に関する教育のあり方について検討する。
10. 地域看護学に関する国際的な交流を行い, News Letterを年1回発行する。
11. 日本地域看護学会表彰制度を運営する。
12. 災害に対する支援のあり方を検討する。
13. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め, 活動に参画する。
14. その他必要な事業を行う。

**一般社団法人日本地域看護学会 2022年度事業計画書**

1. 理事会を4回以上および監査会議を1回以上開催する。
2. 社員総会を1回開催する。
3. 会員報告会を1回開催する。
4. 第25回学術集会を開催する。
5. 第25回学術集会時に理事会セミナーを実施する。
6. 日本地域看護学会誌第25巻第1号, 第2号, 第3号を電子体で発行する。
7. 地域看護学に関する研究活動を推進する。
8. 地域看護学に関する広報活動を強化する。
9. 地域看護学に関する教育のあり方について検討する。
10. 地域看護学に関する国際的な交流を行い, News Letterを年1回発行する。
11. 日本地域看護学会表彰制度を運営する。
12. 災害に対する支援のあり方を検討する。
13. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め, 活動に参画する。
14. 代議員・役員選挙を行う。
15. その他必要な事業を行う。

## 一般社団法人日本地域看護学会 2020年度貸借対照表

2021年3月31日現在  
(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
流動資産			
現金預金	7,952,851	19,688,133	△11,735,282
普通預金(事務センター)	4,133,960	13,453,578	△9,319,618
郵便振替(年会費等)	1,109,670	3,510,000	△2,400,330
普通預金(第23回学会参加費等)	0	242,000	△242,000
普通預金(研究セミナー)	237,099	0	237,099
普通預金(学会)	1,769,564	1,780,003	△10,439
普通預金(将来事業準備資金)	702,558	702,552	6
未収金	14,233,544	0	14,233,544
前払金	0	81,676	△81,676
前払金(第24回学会運営資金)	30,440	0	30,440
前払金(第25回学会運営資金)	1,239,680	0	1,239,680
流動資産合計	23,456,515	19,769,809	3,686,706
資産合計	23,456,515	19,769,809	3,686,706
II. 負債の部			
流動負債			
未払金	68,400	55,000	13,400
前受金(年会費等)	1,109,670	3,510,000	△2,400,330
前受金(第23回学会参加費等)	0	242,000	△242,000
前受金(第23回学会運営資金)	0	780,003	△780,003
前受金(第24回学会運営資金)	800,004	0	800,004
流動負債合計	1,978,074	4,587,003	△2,608,929
負債合計	1,978,074	4,587,003	△2,608,929
III. 正味財産の部			
一般正味財産	21,478,441	15,182,806	6,295,635
正味財産合計	21,478,441	15,182,806	6,295,635
負債及び正味財産合計	23,456,515	19,769,809	3,686,706

## 一般社団法人日本地域看護学会 2020年度収支計算書

自 2020年4月1日  
至 2021年3月31日

## I. 一般会計

## 1. 収入

(単位：円)

項目	2020年度 予算	2020年度 決算	差 異 (収入減 △)	備 考
1 年会費	13,800,000	14,100,000	300,000	10,000円×1,410件 2020年度：1,371 / 1,467人(入金率93.4%) 過年度：39件
2 入会金	600,000	535,000	△ 65,000	5,000円×107人
3 寄付金	0	0	0	
4 第23回学術集会(誌上開催)	1,750,000	2,267,010	517,010	助成金(勇美記念財団：750,000円, 大阪府福祉基金： 200,000円)を含む
5 委員会セミナー参加費	300,000	1,055,000	755,000	第1回：264,000円, 第2回：791,000円
6 投稿料	250,000	210,000	△ 40,000	5,000円×42件
7 学会誌売上	0	0	0	
8 将来事業準備資金取崩	0	0	0	
9 雑収入	20,100	11,396	△ 8,704	
(1) 利息	100	76	△ 24	
(2) 著作権使用料	20,000	11,220	△ 8,780	医学中央雑誌刊行会
(3) その他	0	100	100	抄録コピーサービス1部
(A) 当期収入合計	16,720,100	18,178,406	1,458,306	
前期繰越金	14,480,254	14,480,254	0	
(B) 合 計	31,200,354	32,658,660	1,458,306	

## 2. 支出

(単位：円)

項目	2020年度 予算	2020年度 決算	差 異 (支出増 △)	備 考
<b>事業費支出</b>				
1 第23回学術集会(誌上開催)	2,750,000	2,674,028	75,972	
2 理事会セミナー	10,000	5,000	5,000	
3 会員報告会	0	0	0	
4 研究論文表彰費	150,000	124,850	25,150	論文賞副賞：110,000円, その他：14,850円
5 学会誌	4,050,000	2,775,300	1,274,700	第23巻第1号, 第2号, 第3号
(1) 製作費	3,900,000	2,687,300	1,212,700	
(2) 発送費	0	0	0	
(3) J-STAGE搭載作業費	150,000	88,000	62,000	掲載論文20編
6 委員会活動費	3,260,000	2,149,390	1,110,610	
(1) 編集委員会	1,000,000	413,082	586,918	委員会開催費(3回), 拡大編集委員会開催費(1回)等
(2) 研究活動推進委員会	960,000	1,380,170	△ 420,170	委員会開催費(3回), セミナー開催費(2回)
(3) 広報委員会	300,000	204,338	95,662	委員会開催費(3回), 委員会調査実施費用
(4) 教育委員会	500,000	0	500,000	委員会開催費(2回) ※Web会議のため支出なし
(5) 国際交流推進委員会	200,000	151,800	48,200	委員会開催費(1回), ニュースレター No.20作成費
(6) 表彰論文選考委員会	100,000	0	100,000	委員会開催費(1回) ※Web会議のため支出なし
(7) 災害支援のあり方検討委員会	200,000	0	200,000	委員会開催費(1回) ※Web会議のため支出なし
7 選挙運営費	300,000	243,540	56,460	
(1) 選挙管理等受付管理費	220,000	220,000	0	
(2) 代議員選挙運営費	0	0	0	
(3) 役員選挙運営費	50,000	23,540	26,460	名簿作成費, 印刷・発送費等
(4) 選挙管理委員会会議費	30,000	0	30,000	委員会開催費(2回)
8 諸会費	100,000	80,000	20,000	
(1) 日本看護系学会協議会	80,000	80,000	0	
(2) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会	20,000	0	20,000	2020年度会費の請求なし
9 雑費	10,000	5,214	4,786	新宿区支援業務用Wi-Fiレンタル代
事業費小計	10,630,000	8,057,322	2,572,678	
<b>管理費支出</b>				
1 会議費	450,000	112,580	337,420	
(1) 理事会	300,000	22,110	277,890	理事会(3回), 監査(2回), Web会議用Zoomアカウント取得費用を含む
(2) 社員総会	150,000	90,470	59,530	社員総会(1回)
2 交通・宿泊費	1,000,000	0	1,000,000	理事会(3回), 監査(2回), 社員総会(1回)
3 印刷費	400,000	324,929	75,071	会議資料・封筒・年会費請求書等印刷費
4 発送費	400,000	258,406	141,594	年会費請求書・入会通知等発送費
5 ホームページ管理費	400,000	396,000	4,000	
6 業務委託費	2,900,000	2,628,230	271,770	
7 租税公課	70,000	70,000	0	法人税

8 雑費	70,000	35,310	34,690	
(1) 振込手数料	20,000	9,900	10,100	
(2) その他	50,000	25,410	24,590	振替通知書発行手数料(110円×231件)
管理費小計	5,690,000	3,825,455	1,864,545	
<b>資産積立支出</b>				
1 将来事業準備資金積立金	0	0	0	
資産積立支出小計	0	0	0	
(C) 当期支出合計	16,320,000	11,882,777	4,437,223	
(A-C) 当期収支差額	400,100	6,295,629	△ 5,895,529	
(B-C) 次期繰越金	14,880,354	20,775,883	△ 5,895,529	

## II. 積立金

## 将来事業準備資金

(単位：円)

	収入	支出	備考
前期繰越金	702,552	取崩	0
繰入	0	次期繰越金	702,558
受取利息	6		
収入合計	702,558	支出合計	702,558

## 一般社団法人日本地域看護学会 2020年度財産目録

2021年3月31日現在  
(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
普通預金(事務センター)	三菱UFJ銀行	一般会計/学会運転資金	4,133,960
郵便振替(年会費等)	ゆうちょ銀行	一般会計/翌事業年度計上年会費等	1,109,670
普通預金(研究セミナー)		一般会計/研究活動推進委員会セミナー参加費	237,099
普通預金(学会)	三菱UFJ銀行	一般会計/第24回学会集會運転資金	1,769,564
普通預金(将来事業準備資金)	三菱UFJ銀行	積立金/将来事業準備資金	702,558
未収金	ゆうちょ銀行	一般会計/年会費	14,104,590
未収金	三菱UFJ銀行	一般会計/研究活動推進委員会セミナー参加費	128,954
前払金(第24回学会集會運転資金)	三菱UFJ銀行	一般会計/第24回学会集會経費	30,440
前払金(第25回学会集會運転資金)	三菱UFJ銀行	一般会計/第25回学会集會会場費	1,239,680
		流動資産合計	23,456,515
		資産合計	23,456,515
<b>(流動負債)</b>			
未払金	三菱UFJ銀行	一般会計/研究活動推進委員会セミナー参加費返金	68,400
前受金(年会費等)	ゆうちょ銀行	一般会計/翌事業年度計上年会費等	1,109,670
前受金(第24回学会集會運転資金)	三菱UFJ銀行	一般会計/第24回学会集會運転資金	800,004
		流動負債合計	1,978,074
		負債合計	1,978,074
		正味財産	21,478,441

## 一般社団法人日本地域看護学会 2021年度収支予算書

自 2021年4月 1日  
至 2022年3月31日

## I. 一般会計

## 1. 収入

(単位：円)

項目	2021年度 予算	2020年度 予算	2020年度 決算	備考
1 年会費	13,800,000	13,800,000	14,100,000	10,000円×1,380 / 1,470人(入金率94%程度)
2 入会金	500,000	600,000	535,000	5,000円×100人
3 寄付金	0	0	0	
4 第24回学術集会	8,000,000	1,750,000	2,267,010	
5 委員会セミナー参加費	300,000	300,000	1,055,000	研究活動推進委員会セミナー参加費
6 投稿料	200,000	250,000	210,000	5,000円×40件
7 将来事業準備資金取崩	0	0	0	
8 雑収入	10,100	20,100	11,396	
(1) 利息	100	100	76	
(2) 著作権使用料	10,000	20,000	11,220	医学中央雑誌刊行会
(3) その他	0	0	100	
(A) 当期収入合計	22,810,100	16,720,100	18,178,406	
前期繰越金	20,775,883	14,480,254	14,480,254	
(B) 合計	43,585,983	31,200,354	32,658,660	

## 2. 支出

(単位：円)

項目	2021年度 予算	2020年度 予算	2020年度 決算	備考
<b>事業費支出</b>				
1 第24回学術集会	9,000,000	2,750,000	2,674,028	
2 理事会セミナー	50,000	10,000	5,000	
3 会員報告会	50,000	0	0	
4 研究論文表彰費	150,000	150,000	124,850	論文賞副賞：110,000円, その他：40,000円
5 学会誌	4,050,000	4,050,000	2,775,300	第24巻第1号, 第2号, 第3号
(1) 製作費	3,900,000	3,900,000	2,687,300	
(2) J-STAGE搭載作業費	150,000	150,000	88,000	
6 委員会活動費	2,800,000	3,260,000	2,149,390	
(1) 編集委員会	1,000,000	1,000,000	413,082	拡大編集委員会開催費(1回)を含む
(2) 研究活動推進委員会	500,000	960,000	1,380,170	セミナー開催費(1回)を含む
(3) 広報委員会	300,000	300,000	204,338	
(4) 教育委員会	500,000	500,000	0	
(5) 国際交流推進委員会	200,000	200,000	151,800	ニュースレター No.21作成費を含む
(6) 表彰論文選考委員会	100,000	100,000	0	
(7) 災害支援のあり方検討委員会	200,000	200,000	0	
7 選挙運営費	0	300,000	243,540	
(1) 選挙管理等受付管理費	0	220,000	220,000	
(2) 代議員選挙運営費	0	0	0	
(3) 役員選挙運営費	0	50,000	23,540	
(4) 選挙管理委員会会議費	0	30,000	0	
8 諸会費	100,000	100,000	80,000	
(1) 日本看護系学会協議会	80,000	80,000	80,000	
(2) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会	20,000	20,000	0	
9 雑費	50,000	10,000	5,214	
事業費小計	16,250,000	10,630,000	8,057,322	
<b>管理費支出</b>				
1 会議費	250,000	450,000	112,580	
(1) 理事会	200,000	300,000	22,110	理事会・懇談会・監査会議費, Web会議費用を含む
(2) 社員総会	50,000	150,000	90,470	Web会議費用を含む
2 交通・宿泊費	400,000	1,000,000	0	
3 印刷費	400,000	400,000	324,929	封筒・請求書作成費等
4 発送費	400,000	400,000	258,406	年会費請求書等
5 ホームページ管理費	400,000	400,000	396,000	
6 業務委託費	2,900,000	2,900,000	2,628,230	
7 租税公課	70,000	70,000	70,000	法人税
8 雑費	120,000	70,000	35,310	
(1) 振込手数料	40,000	20,000	9,900	振込手数料・振替通知書発行手数料
(2) その他	80,000	50,000	25,410	登記変更費等
管理費小計	4,940,000	5,690,000	3,825,455	

## 資産積立支出

1	将来事業準備資金積立金	0	0	0
	資産積立支出小計	0	0	0
	(C) 当期支出合計	21,190,000	16,320,000	11,882,777
	(A-C) 当期収支差額	1,620,100	400,100	6,295,629
	(B-C) 次期繰越金	22,395,983	14,880,354	20,775,883

## Ⅱ. 積立金

## 将来事業準備資金

(単位：円)

	取 入		支 出		備 考
前年度繰越金	702,558		取崩		0
繰入	0		次年度繰越金		702,558
受取利息	0				
	収入合計	702,558	支出合計		702,558

## 一般社団法人日本地域看護学会 議事録

### 2020年度第1回理事会議事録

I. 日 時 2020年5月29日(金) 17:00～19:00

II. 会 場 Zoomによるオンライン会議

III. 配信元 株式会社ワールドプランニング会議室(東京都新宿区神楽坂4丁目1番1号)

IV. 出席者 理 事 長 宮崎美砂子

副理事長 荒木田美香子, 田高 悦子

理 事 石橋みゆき, 石丸 美奈, 上野 昌江, 大森 純子, 岸 恵美子, 北山三津子, 河野あゆみ, 小西かおる,  
田村須賀子, 永田 智子, 春山 早苗

監 事 佐伯 和子, 村嶋 幸代

事務局 筒井 愛, 野田 智己

(\*印は欠席者)

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。

### V. 議 事

#### 報告事項

#### 1. 第23回学術集会について(河野理事)資料1

第23回学術集会(2020年8月29～30日)は、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大の予防と来場者の安全と健康を第一に考え、現地開催を中止とし、誌上開催に変更した旨を報告した。参加費は返金対応とし、演題・ワークショップ登録者には登録費として3,000円を徴収することとした。また、講演集は、冊子体では発行せず、学会HPと学術集会HP上でPDF形式にて会員・非会員に関わらず公開することとした。

#### 2. 第24回学術集会について(岸理事)

第24回学術集会(2021年9月11～12日)に向けて、運営体制、講師依頼、プログラムを検討中である旨を報告した。

#### 3. 会員数について(石丸理事)資料2

5月22日時点での会員数は、1,515人である旨を報告した。

#### 4. 委員会報告について

##### 1) 編集委員会(北山理事)

第1回委員会を6月6日に開催予定である旨、また、2020年度活動計画を委員会内にて確認することを報告した。

##### 2) 研究活動推進委員会(大森理事)

第1回研究セミナー(3月8日開催)が、新型コロナウイルス拡大予防および拡散防止対策により延期したこと、参加者全員に連絡を行い、HP上に案内文を掲載したこと、今後はWeb配信も含めて準備していくことが報告された。

##### 3) 広報委員会(田村理事)資料3

一般社団法人日本看護学校協議会会員校を対象に、学術集会の案内チラシ・質問紙を郵送した調査結果について、資料を基に報告した。442校中、回答数は67件(回収率15.2%)であり、学会や学術集会等に対する期待や要望等や、事例を通して様々な見解が討論される学会を希望しているなどの意見が寄せられたことが報告された。

##### 4) 教育委員会(岸理事)

地域看護学の到達目標の検討、地域看護学の教育内容・方法の検討について、委員会内で検討を行っていること、今後は他学会との連携や意見交換なども行っていく旨が報告された。

##### 5) 国際交流推進委員会(河野理事)

第23巻第1号に英文ニュースレター No.19を掲載した旨を報告した。

##### 6) 表彰論文選考委員会(上野理事)

2019年度論文賞優秀賞1編、奨励賞2編を選定したこと、また、名誉会員に別所遊子氏が推薦されたことが報告された。

##### 7) 災害支援のあり方検討委員会(春山理事)

第22回学術集会時(2019年8月18日)に、ワークショップを開催し、48名の参加があったこと、栃木県より要請があり、台風19号による被災市町村の保健活動に関する収集および振り返り支援を行った旨が報告された。また、第23回学術集会にてワークショップを開催予定であったが、誌上開催に伴い、取り下げることにした。

## 8) 地域看護学術検討ワーキンググループ(春山理事)

第22回学術集会時(2019年8月18日)に、ワークショップを開催し、98名の参加があったこと、学会誌第23巻第1号に、「地域看護学」の再定義；これからの地域看護学の実践・教育・研究」の報告を掲載したこと、また、以上をもって、ワーキンググループの活動が終了したことが報告された。

## 審議事項

## 1. 2019年度第5回理事会及びメール審議の議事録の承認について(宮崎理事)資料4

議事録の内容を確認し、一部を修正のうえ、これを承認した。

## 2. 2020年度社員総会について(石丸理事)資料5

2020年度社員総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から対面での開催を中止し、書面にて決議を取る形式に開催に変更することを決定した。議決権を有する社員に開催通知・議題・資料を送付し、メール・FAXにて回答を受け付け、後日、議事録と学会HPにて審議結果を報告することとした。

## 3. 2019年度事業報告について(宮崎理事)資料6

2019年度事業報告について、2019年度事業報告書(学会全体および委員会活動)を基に確認し、社員総会に諮ることとした。

## 4. 2019年度決算案について(石橋理事)資料7

2019年度決算について、貸借対照表、収支計算書、財産目録を基に確認し、社員総会に諮ることとした。

## 5. 監査について(佐伯・村嶋監事)資料8

5月22日に業務および会計に関する監査を行った旨を報告した。監事より、地域看護学の構築と拡大についての評価とともに、会員数が横ばい状態であることから、今後、会員増に向けて当学会がどのような方向を目指していくかを明確にすべきである等の監査報告がなされた。

## 6. 2020年度事業計画ならびに2021年度事業計画案について(石丸理事)資料9

2020年度事業計画書、2021年度事業計画書を基に確認し、2019年度社員総会に諮ることとした。

## 7. 2020年度予算案について(石橋理事)資料10, 補足資料

2020年度予算について、2019年度予算書を基に確認し、2019年度社員総会に諮ることとした。また、研究活動推進委員会より、延期となったセミナーをWeb配信を含めて再度調整を行うための予算が申請され、承認された。

今年度は、コロナウイルスによる感染拡大の懸念があり、対面での会議の開催は困難であることから、ZoomなどのWeb会議ツールのライセンス購入費が必要となるため、これらの予算も承認した。

## 8. 健康危機管理支援システム(ブロック調節候補者)について(春山理事)資料11

大規模災害等健康危機発生時において、厚生労働省、自治体、関係団体などから支援要請を受けた場合に、当学会として、速やかに対応できる支援体制を構築する必要があることから、地域ごとに候補者案を選定したことが報告された。今後、システムの運用や学会の後方支援などを含めて、引き続き検討することとなった。

## 9. 2019年度会員報告会について

2019年度会員報告会の開催については、学術集会が誌上開催になったことに伴い、学会HPにて公開することとした。

## 10. 入退会者申請者について(石丸理事)資料12, 入会申込書

入会申請者4人、退会申請者56人(2018年度退会:53人, 2019年度退会:3人)について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申請者のうち推薦人がいない者については宮崎理事長を推薦人とする旨、退会申請者のうち年会費に未納がある者は納付をもって退会を認める旨を確認した。

## 11. 第25回学術集会長について(宮崎理事)

2022年開催の第25回学術集会の学術集会長について、田村須賀子理事(富山大学)より、内諾を得られたことが報告された。

## 12. その他

## 1) 理事会の開催について

例年、社員総会前に行われる第2回理事会については、今年度は開催を見送ること、審議事項がある際にはメール審議にて対応することとした。また、それ以降の理事会については10月頃に、対面またはWeb会議にて開催予定とした。

以上

## 2020年度第2回理事会議事録

I. 日 時 2020年11月8日(日)13:30～16:00

II. 会 場 Zoomによるオンライン会議

III. 配信元 株式会社ワールドプランニング会議室(東京都新宿区神楽坂4丁目1番1号)

IV. 出席者 理 事 長 宮崎美砂子

副理事長 荒木田美香子\*, 田高 悦子

理 事 石橋みゆき, 石丸 美奈, 上野 昌江, 大森 純子, 岸 恵美子, 北山三津子, 河野あゆみ, 小西かおる,  
田村須賀子, 永田 智子, 春山 早苗\*

監 事 佐伯 和子, 村嶋 幸代

事務局 筒井 愛, 野田 智己

(\*印は欠席者)

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。

V. 議 事

報告事項

### 1. 第23回学術集会について(河野理事)資料1

第23回学術集会は、2020年4月24日に開催方法を誌上発表へ変更し、学術集会長講演、公開講座の一部を動画配信とした旨を報告した。一般演題には発表のクレジットを付与することとし、参加費は返金、演者より演題登録費を徴収した。プログラムに取下げはほぼなく、一般演題166題、ワークショップ6題の申込があった。

8月25日～10月31日までの期間におけるHPへのアクセス数は1,715件で、市民公開講座の動画再生回数は781回であった。また、会計については、収入3,267,010円、支出2,674,028円で、592,982円が学会本体への戻し金となったこと、および、監事による監査が完了したことについても併せて報告した。

### 2. 第25回学術集会について(田村理事)資料2

第25回学術集会は、2022年8月27～28日に、富山国際会議場(富山市)において対面での開催を目指すこととし、2021年1月8日の企画委員会にて、運営体制、プログラム等を検討予定である旨を報告した。

また、学会誌が電子化に移行したことに伴い、学術集会チラシ・開催案内等を会員へ郵送すること機会がなくなったことから、第24回学術集会以降は学会負担で郵送することを決定した。併せて、企画委員会等で学会のZoomのIDを使用すること、もしくは新たに作成することについても認めることとした。

### 3. 会員数について(石丸理事)資料3

10月30日時点での会員数は、1,448人である旨を報告した。

### 4. 委員会報告について

#### 1) 編集委員会(北山理事)資料4

第2回委員会を10月3日に開催した旨を報告した。学会誌の冊子体を取りやめ、電子ジャーナル化して3冊を発行したことから、会員へアンケート調査を行うこととなり、調査項目について内容を確認した。

また、英文での投稿についての問い合わせがあり、投稿規程では英文での投稿を認めていること、また今後、海外への情報発信も必要となることから、英文での投稿や査読体制などを整えていく旨を報告した。

#### 2) 研究活動推進委員会(大森理事)資料5

第1回研究セミナー(10月2～18日:オンデマンド配信/10月10日:LIVE配信)を開催し、参加者は139名(会員101名・非会員8名・学生30名)であったこと、アンケート結果は概ね好評であった旨を報告した。また、2021年3月に第2回目のセミナーをオンデマンド配信にて開催予定であること、セミナー終了後に過去2回分の会計報告を行うことを報告した。なお、オンライン開催の経費についても見積もりを基に確認し、参加費については当初の金額とすることとした。

#### 3) 広報委員会(田村理事)資料6

7月27日に第1回委員会を開催し、昨年同様、広報のための質問紙アンケートハガキを作成し、学術集会の案内とともに公立病院地域連携室へ郵送予定である旨を報告した。

また、学会HPの確認については、月1回とし、閲覧者の視線に立ち、分かりやすいHPを目指すこととする。

#### 4) 教育委員会(岸理事)資料7

「日本地域看護学会が提案する地域看護学の卒業時到達目標と内容・方法」について、資料を基に報告した。委員会内でも引き続き検討を行うほか、役員からも意見募集やメール審議を行い、2021年2月頃に学会HPにて公開を目指すこととする。

## 5) 国際交流推進委員会(河野理事) 資料8

第24巻第1号に英文ニュースレター No.20を掲載予定であることを報告した。また、英文ニュースレターについては、今後も学会誌の掲載記事の一部として取り扱うこととした。

当初2月28・29日に開催を予定していた第6回世界看護科学学会学術集会在新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止となったことについて、11月5日にWANSの理事会が開催され、会場のキャンセル料の免除等があり約800万円の黒字計上となった旨の報告があった。永田理事、村嶋監事より、該当収益はWANSとして有効活用していく方針である旨の補足説明がなされた。

## 6) 表彰論文選考委員会(上野理事)

2019年度表彰論文賞について、当初、第23回学術集會会期中の会員報告会での表彰を予定していたが、開催方法の変更に伴い、優秀賞1編、奨励賞2編の表彰状を作成し郵送したこと、受賞者の声を講演集に掲載したことを報告した。

また、2020年度表彰論文賞の選考を2021年1月に行う旨を併せて報告した。

## 5. その他

## 1) 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策保健所支援(積極的疫学調査)チームの派遣について(宮崎理事) 資料9

厚生労働省の要望を受け、積極的疫学調査への会員の推薦を7月と10月の2回行ったことを報告した。立候補者は15名であり、今後も引き続き活動を継続していくこととした。

## 2) 全公連2020年度インターネット総会について(宮崎理事) 資料10

全国公衆衛生関連学協会連絡協議会の2020年度総会がオンラインで開催されたことについて、資料を基に報告した。また、2021年3月26日を候補日とし、延期していた第2期学術集會を開催予定であることを報告した。

## 3) 日本学術会議第25期について(宮崎理事) 資料11

日本学術会議が推薦した105名の会員候補者のうち6名が任命されなかったことを受け、日本看護系学会協議会が内閣総理大臣へ「日本学術会議会員任命に関する声明」を提出したことについて報告した。

## 審議事項

## 1. 2020年度第1回理事会およびメール審議の議事録承認について(宮崎理事) 資料12

議事録の内容を確認し、一部を修正のうえ、これを承認した。

## 2. 入退会者申請者について(石丸理事) 資料13, 回覧資料

入会申請者17人、退会申請者11人について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申請者のうち推薦人がいない者3人については宮崎理事長を推薦人とする旨、退会申請者のうち年会費に未納がある者は納付をもって退会を認める旨を確認した。

## 3. 第24回学術集會の開催方法について(岸理事) 資料14

第24回学術集會の開催方法について検討し、新型コロナウイルス感染症の収束がみえないことから、オンライン開催とする旨を決定した。オンライン開催にあたり、講演集は冊子体で作成する等の意見が出された。理事会セミナーについては、次回理事会で審議することとした。

## 4. 選挙管理委員会委員の選出について

選挙管理委員会の永田委員長、田村副委員長より、陶山公子氏(富山大学)、山本なつ紀氏(慶應義塾大学)が推薦され、これを承認した。2021年1月の役員選挙に向けて、準備を進めている旨を報告した。

## 5. 健康危機管理支援システム案について(宮崎理事) 資料15

大規模災害等健康危機発生時において、厚生労働省、自治体、関係団体などから支援要請を受けた場合に、本学会として速やかに対応できる支援体制として「日本地域看護学会健康危機管理支援システム」を構築し、今後、運用していくこととした。システムに関する申し合わせ・フローチャート・申請書・活動日報・復命報告書等の内容について、資料を基に確認した。

## 6. 賛助会員の入会申請・学会HPの企業広告について(宮崎理事) 資料16

賛助会員の入会について、9月に実施したメール審議結果を報告した。企業が賛助会員として入会することについては概ね賛成であったが、賛助会員として入会した企業の広報の一環で学会HPへの広告掲載等を認めるかに関しては意見がわかれ、社員総会に諮ることとした。

また、正会員を含めた会費に関する規程や申し合わせを作成してはどうかとの意見が出され、今後検討することとした。

## 7. その他

## 1) JANA役員選挙について

日本看護系学会協議会より、役員選挙の開催に伴い、理事1名、監事1名の被選挙人推薦の依頼があり、候補者を検討した。他

学会より推薦を受けていないことが条件となるため、当学会では監事の推薦は行わないこととし、他学会の推薦を受けていない場合には、本学会より荒木田理事を理事として推薦することとした。

以上

## 2020年度第3回理事会議事録

I. 日 時 2021年2月21日(日) 13:30～16:00

II. 会議形態 Zoomによるオンライン会議

配信元：株式会社ワールドプランニング会議室（東京都新宿区神楽坂4-1-1）

III. 出席者 理事長 宮崎美砂子

副理事長 荒木田美香子, 田高 悦子

理 事 石橋みゆき, 石丸 美奈, 上野 昌江, 大森 純子, 岸 恵美子, 北山三津子, 河野あゆみ, 小西かおる,  
田村須賀子, 永田 智子\*, 春山 早苗

監 事 佐伯 和子, 村嶋 幸代

事務局 筒井 愛, 野田 智己

(\*印は欠席者)

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。

## IV. 議 事

### 報告事項

#### 1. 2020年度役員選挙の結果について(田村理事)資料1

選挙管理委員会より、2020年度役員選挙の結果について報告した。2021年1月28日に開票が行われ、67人中55人から投票があり、投票率は82.0%であった旨、理事(当選理事)12人および監事2人が選出された旨を報告した。就任の諾否を確認後、メールにて現役員に報告し、推薦理事を含めた役員を選任について2021年度社員総会に諮ることとした。また、会員には、社員総会承認後、HPおよび学会だより等にて報告することとした。

#### 2. 第24回学術集会について(岸理事)資料2・別紙資料A

第24回学術集会をWeb開催とすることについて、2021年8月27日～9月26日までオンデマンド配信を行い、9月11・12日はライブ配信を行うこととし、事前のオンライン配信を経て、ライブ配信時に質疑応答や意見交換ができるよう準備を進めている旨を報告した。併せて、ライブ配信スケジュール案および予算案を確認した。また、当初、会場として予約をしていた一橋講堂のキャンセル費用は、コロナ禍での特別対応として無料になったことも報告した。

#### 3. 第24回学術集会理事会セミナーについて(田高理事)資料3

第24回学術集会理事会セミナーは、乙部由子氏(元名古屋工業大学 特任准教授・NPO法人ウイメンズボイス 理事)に、「“Society 5.0”の社会における人びとのライフスタイルの展望と新たな課題」をテーマにオンデマンド配信での講演を依頼することとした旨を報告した。

#### 4. 第25回学術集会について(田村理事)

第25回学術集会(2022年8月27～28日、富山国際会議場(富山市))に向けて、1月8日に第1回企画委員会を開催し、運営体制、プログラム等の検討を行った旨を報告した。また、委員会内で検討し、学術集会テーマを「地域生活者の健康と存在を護る地域看護のプロフェッション - 当事者・家族が普通に生活できる暮らしの場づくり -」と変更したこと、第23回学術集会と同様に演題発表者は筆頭著者が会員であれば共著者は非会員でも可とすること、倫理的配慮がなされているのであれば所属先等の倫理審査機関による審査を受けていなくても可とする旨も併せて報告した。

#### 5. 会員数について(石丸理事)資料4

2月13日時点での会員数は、1,464人である旨を報告した。

#### 6. 委員会報告について

##### 1) 編集委員会(北山理事)資料5-1・別紙資料B

第3回委員会を2月6日に開催したこと、および、学会誌の電子化に伴い行ったアンケート調査(調査対象者:1,354人,回答者数:168人,回答率:12.4%)の報告がなされた。調査結果より、多くの会員が学会誌の発行に気が付いていないことを受け、今後は新刊を案内するメールマガジンは他の連絡項目と混ぜせず、単独で配信することとした。また、地域看護に活用できるインデックスについては、学会HPのトップページにバナーを貼り、目に留まりやすくする工夫をした。

また、本学会誌に掲載済の論文の著者より論文取り下げの依頼があり、申し出の理由ならびに著作権を持つ本学会としての対応

を慎重に検討した結果、当該論文に対し、論文の取り下げではなく、学会HPとJ-STAGEに掲載されている電子的公開のみを削除し対応することを決定した。なお、本決定については、著者への配慮を行ったうえで、学会HPおよび学会誌第24巻第1号に掲載することとした。

## 2) 研究活動推進委員会(大森理事)資料5-2

第1回研究セミナー(3月14~21日:オンデマンド配信/3月13日:LIVE配信)について、本日時点での申込人数が182名である旨を報告した。

今後も、セミナーのオンライン化・オンデマンド配信化のニーズは高いことから、参加費の設定や学生の参加者を増やすこと、経費などを検討していくこととした。

## 3) 広報委員会(田村理事)資料5-3

昨年同様、広報のための質問紙アンケートハガキを作成し、学術集会の案内とともに、独立行政法人国立病院機構:140か所、国立大学法人・私立学校法人附属病院:155か所、公的医療機関・社会保険関係団体(日本病院会会員):796か所、計1,091か所を対象に郵送予定である旨を報告した。

## 4) 教育委員会(岸理事)資料5-4・別紙資料C

地域看護学の教育内容と方法を提案するにあたり、代議員への意見募集(回答数:2件)、委員会での検討内容を反映した「日本地域看護学会が提案する地域看護学の卒業時到達目標と内容・方法」を確認した。最終確認を行い、3月に学会HPにて公開することとした。

また、『看護展望(メヂカルフレンド社/月刊誌)』より、5月号で地域・在宅看護論の授業づくりに関する特集を組むにあたり、原稿執筆の依頼があり、宮崎理事長、岸理事、教育委員会委員を中心に引き受けることとした旨を報告した。

## 5) 国際交流推進委員会(河野理事)資料5-5

第24巻第1号に英文ニュースレター No.20を掲載予定であることを報告した。

## 6) 表彰論文選考委員会(上野理事)資料5-6

2020年度論文賞の選考に際し、役員・代議員による事前投票を実施した旨(投票人数:30名,投票率:44.7%)、第1回委員会を2月6日に開催し、論文賞ならびに名誉会員候補者の選考を行った旨を報告した。

## 7) 災害支援のあり方検討委員会(春山理事)資料5-7

各委員によるCOVID-19関連の支援活動状況等の報告や情報共有がなされた。また、健康危機管理支援システムに関する委員会活動についての報告がなされた。

## 7. 2020年度中間決算について(石橋理事)資料6

2月19日付の収支計算書を基に、2020年度中間決算について報告した。

## 8. その他

### 1) JANA役員選挙について(宮崎理事)資料7

JANA役員選挙に際して、本学会の会員である荒木田美香子氏と上野まり氏を理事、村嶋幸代氏を監事として選出し、投票したことを報告した。

## 審議事項

### 1. 前回理事会議事録について(宮崎理事)資料8

2020年度第2回理事会議事録案の内容を確認し、これを承認した。

### 2. 2021年度社員総会について(石丸理事)資料9

2021年度社員総会について、6月27日(日)13:30~14:30、Zoomによるオンライン会議にて開催する旨を決定した。資料などは昨年と同様に事前のメール配信を行うこととする。

### 3. 2020年度事業報告案について(石丸理事)資料10

2020年度事業報告案(学会全体および委員会活動)について、資料を基に確認した。メール審議を行った事案についても記載するほか、全体的に内容を点検したうえで次回理事会において再度確認し、2021年度社員総会に諮ることとした。

### 4. 2021年度ならびに2022年度事業計画案について(石丸理事)資料11

2021年度事業計画案ならびに2022年度事業計画案について、資料を基に確認し、これを承認した。次回理事会において再度確認し、2021年度社員総会に諮ることとした。

### 5. 2021年度予算案について(石橋理事)資料12

2021年度予算案について、資料を基に確認した。委員会活動費およびオンデマンド配信などのWeb関連費、業務委託費等を見

直したうえで、次回理事会において再度確認し、2021年度社員総会に諮ることとした。

#### 6. 2020年度表彰論文および名誉会員について(上野理事)資料13

表彰論文選考委員会にて選考した、2020年度論文賞ならびに名誉会員候補者について、資料を基に検討した。論文賞は選考方法も含め適切であったことを確認したうえで、以下のとおり優秀論文賞1編および奨励論文賞2編の選出を承認した。また、名誉会員候補者1名、河野啓子氏を推挙し、2021年度社員総会にて承認を得ることとした。

なお、第24回学術集会在Web開催となったことから、授賞式についてもオンラインで執り行う旨を決定した。2020年度社員総会にて名誉会員として承認された別所遊子氏の称号証の授与も併せて行うこととする。

##### 優秀論文賞

タイトル：発達上気になる子どもの保護者支援に関する保健師－保育士連携活動自己評価尺度の開発(原著)

著者：大塚敏子・巽あさみ・坪見利香

巻号：第22巻第1号

##### 奨励論文賞1

タイトル：アルコール依存症者が断酒と就業を両立するプロセス(原著)

著者：佐野雪子・巽あさみ

巻号：第22巻第2号

##### 奨励論文賞2

タイトル：中山間農村地域のひとり暮らし男性高齢者と地域との関係性における経験の意味

著者：細木千穂・白谷佳恵・田高悦子・伊藤絵梨子・有本 梓

巻号：第22巻第2号

#### 7. 投稿規程等・チェックリスト改定案について(北山理事)資料14

会員より、英文での論文投稿時の執筆要領に関する問い合わせがあったことを受け、編集委員会にて、英文投稿用のWord数・図表換算数を定めた投稿規程改定案およびチェックリスト修正案を作成した旨の報告があり、確認のうえ、本日付けでこれを承認した。なお、査読体制については、投稿受付時に編集委員会にて随時対応することとした。

#### 8. 賛助会員の入会申請について(石丸理事)資料15

前回理事会より継続して審議している、賛助会員の入会金と年会費について、資料を基に賛助会員(個人又は団体)の入会金は10,000円、年会費は30,000円とすることが提案され、これを承認した。なお、賛助会員の特典として、賛助会員となる団体名(社名)は学会HPに「賛助会員」として記されリンクがはられること、学術集会上、賛助会員の団体(社)のメンバー(社員)1名は無料で参加できること、の2点を決定した。

#### 9. 学会HPの企業広告について(石丸理事)資料16

広告掲載規程第3条「バナー広告の掲載場所、掲載料金および規格は別途定める」および第5条「バナー広告掲載を希望する広告主は、別途定める申込書にて手続きをとるものとする」について、バナー広告掲載に係る申し合わせ案およびバナー広告申込書の提案があり、内容を確認し、本日付けでこれを承認した。バナー広告の掲載申込ができる企業および団体は本学会の目的に賛同する者(賛助会員に限らない)、掲載場所はHPトップページ、掲載料金は20千円/月(税別)とすることとした。

#### 10. 入退会者申請者および年会費滞納者について(石丸理事)資料17・回覧資料

入会申請者17人、退会申請者28人について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申請者のうち推薦人がいない者については大森理事・宮崎理事長を推薦人とする旨、退会申請者で未納の年会費がある者については納付をもって退会を認める旨を確認した。

また、会費滞納者について、2年滞納の25人は会員資格の継続を認め、引き続き年会費を請求し、3年滞納の17人は2月21日付での退会手続きを取ることとし、これを承認した。

#### 11. 第26回学術集会長について(宮崎理事)

2023年開催の第26回学術集会の学術集会長について検討し、荒木田美香子理事に就任を依頼することとした。

#### 12. その他

##### 1) 次回理事会の日程について(宮崎理事)

2021年度第1回理事会について、5月1日(土)オンライン会議にて開催することとした。

以上

## 2021年度第1回理事会議事録(案)

I. 日 時 2021年5月1日(土) 13:30 ~ 16:00

II. 会議形態 Zoomによるオンライン会議

配信元:株式会社ワールドプランニング会議室(東京都新宿区神楽坂4-1-1)

III. 出席者 理事長 宮崎美砂子

副理事長 荒木田美香子, 田高 悦子

理 事 石橋みゆき, 石丸 美奈, 上野 昌江, 大森 純子, 岸 恵美子, 北山三津子, 河野あゆみ, 小西かおる,  
田村須賀子, 永田 智子, 春山 早苗\*

監 事 佐伯 和子, 村嶋 幸代

事務局 筒井 愛, 野田 智己

(\*印は欠席者)

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。

## IV. 議 事

## 審議事項

1. 前理事会議事録について(宮崎理事)資料1

2020年度第3回理事会議事録案の内容を確認し、これを承認した。

2. 2021年度社員総会について(宮崎・石丸理事)資料2-1, 2, 3, 4

2021年度社員総会について、開催方法・スケジュール・議題などを確認した。社員には事前に開催案内とともに資料・議決権行使書・オンライン会議への出欠確認書をメールで送付し、6月23日(水)に議決の集計・質問の取りまとめを行い、6月27日(日)13:30~14:30よりZoomによるオンライン会議にて、議決結果の報告・意見交換を行うこととした。

賛助会員の入会に関する議題について、正会員および賛助会員両方の入会金・年会費を定めた申し合わせを資料とすることとした。なお、2021年度社員総会にて承認されたのち、本申し合わせの変更を行う際には理事会審議、入会金・年会費の金額変更が生じる際には、定款どおり社員総会での審議とすることを確認した。

3. 2020年度事業報告について(石丸理事)資料3-1, 2

2020年度事業報告について、2020年度事業報告書(案)(学会全体および委員会活動)を基に確認した。理事会とは別にメールによる審議が8回行われたことから、内容について記載するほか、第2回委員会セミナーの参加者を追記する等、全体を再度確認し、2021年度社員総会に諮ることとした。

4. 2020年度決算案について(石橋理事)資料4

2020年度決算について、収支計算書(案)を基に確認した。監査完了後に理事会にて再度確認し、2021年度社員総会に諮ることとした。

5. 2020年度監査について(石橋理事)

会計事務所による会計書類の提出を待ち、5月中に監査を実施する旨を報告した。

6. 2021年度事業計画ならびに2022年度事業計画案について(石丸理事)資料5

2021年度事業計画書(案)、2022年度事業計画書(案)を基に確認し、2021年度社員総会に諮ることとした。

7. 2021年度予算案について(石橋理事)資料6

2021年度予算について、2021年度予算書(案)を基に確認し、2021年度社員総会に諮ることとした。

8. 2021年度会員報告会について

2021年度会員報告会は、第24回学術集会がWeb開催になったことに伴い、前年度と同様に学会誌に掲載する「学会だより」にて報告することとした。

なお、表彰式については、第24回学術集会の第1日目にオンラインにて執り行うこととし、石丸理事および表彰論文選考委員会委員長の上野理事を中心に進めることとした。

9. 入退会者申請者について(石丸理事)資料7, 別紙資料

入会申請者49人、退会申請者63人(2020年度退会:62人, 2021年度退会:1人)について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申請者のうち推薦人がいない者については宮崎理事長・上野理事を推薦人とする旨、退会申請者のうち年会費に未納がある者は納付をもって退会を認める旨を確認した。

## 報告事項

1. 第24回学術集会について(岸理事)当日資料

第24回学術集会の進捗について、資料を基に報告した。第4回企画委員会を4月29日に開催し、各プログラムの最終確認と座長の検討、査読スケジュールおよび査読方法・内容の確認、優秀演題賞の検討を行ったこと、広報活動として、学術集会チラシ・研究力向上セミナーチラシを看護系大学、関連団体等に発送したこと、第8回日本CNS看護学会、第63回日本老年医学会学術集会のホームページ上にバナー広告を掲載したことが報告された。当日は、東邦大学にて少人数の実行委員が運営にあたることとし、ライブ配信は1日につき1本で行う。

## 2. 第25回学術集会について(田村理事)資料8

第25回学術集会の進捗について、資料を基に報告した。開催趣旨を「地域看護が時代の要請を捉え、人々の健康と安寧に、より一層貢献するための方策を見出すことを目指す」「老人保健法施行以降の地域看護の実践を振り返り、ポストコロナ禍に向けて、看護プロフェッションが果たすべき役割機能責務を追究する」としたこと、開催地である「富山県や北陸・近県での取り組みを取り上げ発信する」としたことが報告された。

また、学術集会チラシを作成し、富山県内の保健師に登録準備を進めてもらうことを目的に、県内に配布したことが併せて報告された。

## 3. 会員数について(石丸理事)資料4

4月20日時点での会員数は、1,412人である旨を報告した。

## 4. 委員会報告について

### 1) 編集委員会(北山理事)

4月28日に学会誌第24巻第1号が公開となった旨を報告した。前回理事会にて審議を行った、過去の掲載論文の電子的公開の削除を行った件については、学会HPと編集後記に通知文を掲載したことが報告された。また、学会誌の電子化に関するアンケートの結果を反映し、学会誌公開の案内時に、目次を記載したメールマガジンを配信した旨も併せて報告がなされた。

### 2) 研究活動推進委員会(大森理事)資料10

第2回研究セミナー(3月14～21日:オンデマンド配信/3月13日:LIVE配信)について、申込人数が210名(会員182名、非会員7名、学生21名)であった旨を報告した。

今後も、オンラインによるセミナーの企画を継続して行うこと、会員からの要望を受けて、過去に開催したセミナーのアーカイブ化についても、経費なども含めて検討していくこととした。

### 3) 広報委員会(田村理事)資料11

公的病院等の地域連携担当部署に対して実施したアンケート調査の結果を、資料を基に報告した。調査期間は2021年2～3月、対象者は1,091か所、回答数は154件(回収率14.1%)であった。年齢、所属学会、職種のほか、学術集会に期待するテーマとして、医療連携、多職種連携、ACP看護倫理、看護界へのAIの導入と活用、高齢化社会と地域包括ケアや入退院支援など広い視野で看護の知見を求めるとの意見があり、第24回学術集会に対してもWeb開催の学術集会は参加しやすいなどの意見が得られた。

### 4) 教育委員会(岸理事)

「日本地域看護学会が提案する地域看護学の卒業時到達目標と内容・方法」を学会HP上にて公開したことを報告した。

また、『看護展望』(メヂカルフレンド社/月刊誌)より地域看護学に関する執筆依頼を受けた件で、4月25日発行の5月号に、特集「地域看護学の卒業時到達目標と内容・方法から考える:『地域・在宅看護論』の新たな授業づくり」として、以下の原稿が掲載された旨を報告した。

- ・「看護基礎教育におけるこれからの地域・在宅看護論と授業づくり」宮崎美砂子
- ・「看護学基礎教育で修得すべき地域看護の能力(コンピテンシー)と卒業時到達目標、および目標に到達するための教育内容と方法(2020)を読み解く」岸恵美子
- ・「『地域・在宅看護論』の学習目標、順序性、教えるべき内容について」石橋みゆき
- ・「コロナ禍での効果的な教授法と臨地実習先との連携について」斉藤恵美子
- ・「看護師教育課程における『地域看護学』教育の新たな展開」赤星琴美ほか
- ・「保健師の家庭訪問援助事例を教材とした授業展開」佐藤紀子

### 5) 国際交流推進委員会(河野理事)

第24巻第1号に英文ニュースレター No.20を掲載した旨を報告した。

### 6) 表彰論文選考委員会(上野理事)

表彰論文の授賞式および名誉会員の称号授与式を第24回学術集会内で行う旨を報告した。

## 7) 災害支援のあり方検討委員会(宮崎理事)

災害対策に関わる情報や被災地の保健師活動についての情報を収集し、それに基づいて地域看護の実践・教育・研究のあり方を考える機会を作る活動を今後も継続して行う旨を報告した。

## 5. その他

## 1) 次回理事会の日程について(宮崎理事)

2021年度第2回理事会について、7月末～8月上旬にオンラインにて開催することとした。

## 2021年度からの理事・監事候補者による懇談会議事録

## I. 日 時 2021年5月1日(土)16:00～17:00

## II. 会議形態 Zoomによるオンライン会議

配信元：株式会社ワールドプランニング会議室(東京都新宿区神楽坂4-1-1)

III. 出席者 理事候補者 荒木田美香子, 大木 幸子, 大森 純子, 蔭山 正子, 岸 恵美子, 北山三津子, 小西かおる,  
田高 悦子, 田村須賀子, 永田 智子, 春山 早苗\*, 宮崎美砂子

監事候補者 佐伯 和子, 村嶋 幸代

事務局 筒井 愛, 野田 智己

(\*印は欠席者)

## IV. 議 事

## 1. 2021～2022年度理事・監事候補者について

2021～2022年度の理事候補者12人および監事候補者2人について、資料を基に確認した。2021年度社員総会(2021年6月27日開催)での承認を経て任期開始となる。

## 2. 担当役員の選出について

## 1) 理事長

宮崎美砂子氏を選出した。

## 2) 副理事長

荒木田美香子氏・田高悦子氏の2人を選出した。

## 3) 推薦理事

総務担当理事として石丸美奈氏(千葉大学大学院), 会計担当理事として石橋みゆき氏(千葉大学大学院), また, 実務等で看護に携わっている秋山正子氏(株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション)の3名を推薦理事として選出し, 就任を打診することとした。

## 4) 総 務

石丸美奈氏に就任を打診することとした。

## 5) 会 計

石橋みゆき氏に就任を打診することとした。

## 3. 委員会委員長の選出について

委員会の委員長ならびに副委員長について検討し, 以下のとおり選出した。なお, 委員については, 各委員長が検討し, 社員総会後に開催する理事会において承認することとした。

## 1) 編集委員会

委員長：永田智子氏, 副委員長：蔭山正子氏

## 2) 研究活動推進委員会

委員長：大森純子氏

## 3) 広報委員会

委員長：田村須賀子氏

## 4) 教育委員会

委員長：岸恵美子氏, 副委員長：大木幸子氏

## 5) 国際交流推進委員会

委員長：小西かおる氏

## 6) 表彰論文選考委員会

委員長：北山三津子氏，副委員長：永田智子氏

## 7) 災害支援のあり方検討委員会

委員長：春山早苗氏

## 4. その他

役員候補者より本学会のあり方について意見交換がなされた。

- ・学会としての位置づけを明確にする。
- ・近年，分野の重なる学会の設立もあり，本学会の会員数が横ばいであることから役員一丸となり，学会を盛り上げていく必要がある。
- ・理事会としての会議のあり方を検討し，最も重要な議題に焦点を当てて議論する場とする。
- ・今期（2021～2022年度）をもって任期満了となる役員が多いことから，今後を見据えた運用が必要である。
- ・委員会委員には，代議員ならびに今後，代議員となるべき会員を積極的に登用する。

## 5. 次回理事会について

社員総会を経て，2021年度第2回理事会を7月下旬～8月に開催することとした。

以上

## 2021年度社員総会議事録

I. 日 時 2021年6月27日（日）13：30～14：30

II. 会議形態 Zoomによるオンライン会議

配信元：株式会社ワールドプランニング会議室（東京都新宿区神楽坂4-1-1）

III. 社員数 議決権を有する社員数：64名

議決権行使書：37名

委任状：22名

未回答：5名

定款第19条「社員総会の決議は，総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し，出席社員の過半数をもって行う。」に則り，本社員総会の成立が宣言された。

## IV. 議事録

## 1. 議事録署名人の決定

定款第24条に則り，宮崎議長ならびに石橋理事および大森理事が務めることとした。

## 2. 決議

- |                                  |              |
|----------------------------------|--------------|
| 1) 第1号議案：2020年度事業報告について          | （賛成59票，反対0票） |
| 2) 第2号議案：2020年度収支決算について          | （賛成59票，反対0票） |
| 3) 第3号議案：2020年度監査報告について          | （賛成59票，反対0票） |
| 4) 第4号議案：2021・2022年度事業計画について     | （賛成59票，反対0票） |
| 5) 第5号議案：2021年度収支予算について          | （賛成59票，反対0票） |
| 6) 第6号議案：賛助会員入会金と会費について          | （賛成59票，反対0票） |
| 7) 第7号議案：2021～2022年度理事・監事の選任について | （賛成59票，反対0票） |
| 8) 第8号議案：名誉会員の推薦について             | （賛成59票，反対0票） |

第1～8号議案は，定款第19条に定める総社員の過半数の出席と，出席社員の過半数の同意の要件を満たし，【可決】された。

## 3. 意見交換

書面にて，社員1名より，1件の意見があった。

- ・会員数の減少が続いているので，学会の長期的ビジョンを明確にし，会員数が安定するような魅力のある学会を目指してほしい。

当日の意見交換では，社員4名より，4件の意見があった。

- ・日本地域看護学会は各委員会でも様々な活動を行っており，会員・非会員に関わらず広く情報を公開しているという印象を持っている。特に，広報委員会によるコロナ関連サイトは，情報公開が早く，活用させていただいた。今後の日本地域看護学会は，

関連学会が多く立ち上がっているなか、保健師だけでなく、実践現場で活動している看護師や地域で活動している方とともに活動していくことや参加しやすい学会を目指すべきだと思う。

- ・「在宅看護論」から「地域・在宅看護論」にカリキュラム変更になったことに伴い、相談支援の新しい形である開かれたまちの保健室や、地域で活動している看護職が所属している現場への実習希望が多くなっているようである。日本地域看護学会としては、学問の幅を広げ、教育現場の方を幅広く会員として取り込み、教育に反映していくことが必要である。
- ・カリキュラム変更のタイミングを逃さず、地域包括支援センターなどに向けて、新しい指針を学会が示すことができれば、会員増加へ繋がると思う。
- ・学生に論文投稿を勧めているが、日本地域看護学会の特徴として、大学教員が多いということもあり、ハードルが高い学会という印象があるようである。今後は、本学会に興味を持っている若手研究者が、参加しやすいと感じるような取り組みが必要だと思う。また、カリキュラム変更に伴い、新たなニーズとして求められている在宅看護関連の方も入会してもらうような取り組みも必要だと思う。

上記の意見に対して、会員数の増加に向けて、魅力ある学会づくりに対して理事会全体で取り組んでいくほか、学会員の潜在しているニーズをとらえ、計画性・戦略性をもって学会運営に臨む旨、理事長から回答があった。

以上